



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月6日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	36,641	△0.2	△249	—	29	△95.8	5,772	294.8
26年3月期第2四半期	36,700	△1.6	416	△30.7	715	△0.5	1,462	230.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 4,871百万円 (47.0%) 26年3月期第2四半期 3,314百万円 (216.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	54.98	—
26年3月期第2四半期	13.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	105,898	57,245	53.6
26年3月期	98,273	52,605	52.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 56,731百万円 26年3月期 51,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	△1.9	△500	—	100	—	5,400	—	51.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	111,452,494株	26年3月期	111,452,494株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	6,460,691株	26年3月期	6,456,997株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	104,994,306株	26年3月期2Q	105,008,498株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による積極的な経済政策や日本銀行の大規模な金融緩和政策の効果もあり、企業収益環境や雇用情勢の改善が続き、緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら、個人消費は消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や、急激な円安による原燃材料高騰の影響等により先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループでは当連結会計年度より新中期経営計画3カ年をスタートさせました。前中期経営計画のビジョンであった「世界のYAMAMURAへ ー心と技術を伝えたいー」は継承し、100周年を超えて持続的成長を維持するために、アジアそして世界に誇れる“YAMAMURA”ブランドの確立を目指し、引き続き「事業構造改革」と「企業風土改革」の二つの改革を進めてまいります。

この中期経営計画を着実に実行することにより、山村グループ一体となって早期の業績改善を果たしていく所存であります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

①ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内の需要が漸減傾向にある中、前連結会計年度末に連結子会社化した中国の秦皇島方圓包装玻璃有限公司（以下、「方圓」という。）の売上が寄与したことにより、セグメント売上高は23,984百万円（前年同期比5.8%増）と増収となりました。昨年12月に大阪工場の操業を停止したことにより、当社ガラスびんカンパニーの労務費、償却費等のコストの減少はありましたが、販売価格改定が計画より遅れたことや、方圓の原燃料価格の高騰もあり、セグメント利益は△412百万円（前年同期は164百万円）と損失となりました。

②プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、5月13日公表いたしましたペットボトル事業からの撤退の影響や、天候不順による影響を受け、ペットボトルおよびプラスチックキャップの販売が低調に推移しました。また、海外子会社においては、プラスチックキャップの内製化による競争激化や天候不順による影響で販売が伸びず、セグメント売上高は4,996百万円（前年同期比16.3%減）と減収となりました。当社プラスチックカンパニーにおいては、減価償却費の減少やコスト削減として修繕費や外注費等の削減に注力しましたが、原料価格の高騰や売上高減少に伴う減益の影響等もあり、セグメント利益は△36百万円（前年同期は111百万円）と損失となりました。

③物流関連事業

物流関連事業では、天候不順による取り扱い物量の減少や収益性が悪い営業所の閉鎖等を行ったため、セグメント売上高は5,524百万円（前年同期比10.4%減）と減収となりました。セグメント利益は燃料費の高止まりによる輸送コストアップ等がありましたが、効率的な人員配置を行うことにより、外注費や人件費等を削減し、81百万円（前年同期は△3百万円）と利益を計上しました。

④ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社ニューガラスカンパニーの電子部品用粉末ガラスと自動車部品用粉末ガラスの出荷が引き続き堅調に推移しました。また、山村フォトニクス株式会社では、世界的な高速大容量のデータ通信ニーズの高まりもあり、主力製品である光通信部品を中心に出荷増となり、引き続き堅調に推移しました。その結果、セグメント売上高は2,136百万円（前年同期比12.9%増）と増収となりました。セグメント利益は、生産効率の改善やコスト削減に注力したことにより、140百万円（前年同期比435.0%増）と大幅な増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は36,641百万円（前年同期比0.2%減）と減収となり、連結営業利益は△249百万円（前年同期は416百万円）と損失となりました。また、持分法による投資利益は314百万円（前年同期比48.5%減）となり、連結経常利益は29百万円（前年同期比95.8%減）となりました。特別利益に昨年12月に操業を停止した大阪工場の跡地を売却したこと等による固定資産売却益8,184百万円等を計上した結果、連結四半期純利益は5,772百万円（前年同期比294.8%増）と大幅な増益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期における通期の業績予想につきましては、当第2四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、平成26年9月26日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成26年11月6日）公表の「平成27年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が129百万円、退職給付に係る負債が74百万円増加し、利益剰余金が35百万円増加しております。

また、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(2) 追加情報

（固定資産の譲渡）

平成26年9月26日に下記の固定資産の譲渡について取締役会の決議を行い、その同日に売買契約を締結し、譲渡を完了しました。

1. 譲渡の理由

従前ガラスびんの生産工場として操業し、平成25年12月に停止以降は遊休状態にあった固定資産について、経営資源の有効活用による財務体質の改善を図ることを目的に譲渡しました。

2. 譲渡資産の概要

大阪府高槻市芝生町1丁目19番 他

土地（面積：35,654.99㎡）および建物

譲渡価額 8,470百万円

なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はありません。

3. 譲渡の日程

平成26年9月26日 取締役会決議、契約締結、物件引渡し

4. 損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、当第2四半期連結累計期間において、固定資産売却益8,169百万円を特別利益に計上しました。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,853	18,154
受取手形及び売掛金	19,815	20,242
商品及び製品	7,775	7,881
仕掛品	397	394
原材料及び貯蔵品	2,616	2,521
その他	2,031	1,425
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	41,477	50,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,272	8,071
機械装置及び運搬具(純額)	7,355	6,588
工具、器具及び備品(純額)	708	700
土地	10,471	10,333
建設仮勘定	462	981
有形固定資産合計	27,270	26,675
無形固定資産		
のれん	2,048	1,857
その他	1,766	1,788
無形固定資産合計	3,814	3,645
投資その他の資産		
投資有価証券	3,826	3,866
関係会社株式	19,401	19,238
退職給付に係る資産	541	867
その他	1,984	1,030
貸倒引当金	△43	△36
投資その他の資産合計	25,710	24,966
固定資産合計	56,795	55,288
資産合計	98,273	105,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,147	9,655
短期借入金	9,835	10,862
未払法人税等	133	2,359
賞与引当金	478	526
役員賞与引当金	13	10
事業構造改善引当金	1,235	20
資産除去債務	97	—
その他	3,507	3,582
流動負債合計	24,448	27,017
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	15,165	15,580
環境対策引当金	168	155
退職給付に係る負債	3,140	3,243
その他	1,743	1,655
固定負債合計	21,218	21,634
負債合計	45,667	48,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	22,093	27,638
自己株式	△1,225	△1,226
株主資本合計	52,243	57,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	884	944
繰延ヘッジ損益	△102	△76
為替換算調整勘定	△95	△1,014
退職給付に係る調整累計額	△953	△911
その他の包括利益累計額合計	△267	△1,056
少数株主持分	629	514
純資産合計	52,605	57,245
負債純資産合計	98,273	105,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)
売上高	36,700	36,641
売上原価	30,683	30,500
売上総利益	6,017	6,141
販売費及び一般管理費	5,601	6,390
営業利益又は営業損失 (△)	416	△249
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	52	55
持分法による投資利益	610	314
その他	113	283
営業外収益合計	778	659
営業外費用		
支払利息	163	214
租税公課	60	90
その他	255	75
営業外費用合計	478	380
経常利益	715	29
特別利益		
固定資産売却益	—	8,184
投資有価証券売却益	—	46
特別修繕引当金戻入額	3,541	—
事業構造改善引当金戻入額	—	1,061
資産除去債務戻入益	—	97
特別利益合計	3,541	9,389
特別損失		
固定資産廃棄損	7	107
減損損失	—	169
支払補償金	—	5
事業構造改善費用	2,123	18
たな卸資産廃棄損	—	31
特別損失合計	2,130	331
税金等調整前四半期純利益	2,125	9,087
法人税、住民税及び事業税	394	2,332
法人税等調整額	265	1,061
法人税等合計	660	3,394
少数株主損益調整前四半期純利益	1,465	5,693
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	3	△78
四半期純利益	1,462	5,772

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,465	5,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	223	61
繰延ヘッジ損益	△57	26
為替換算調整勘定	207	△455
退職給付に係る調整額	—	22
持分法適用会社に対する持分相当額	1,474	△476
その他の包括利益合計	1,848	△821
四半期包括利益	3,314	4,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,310	4,983
少数株主に係る四半期包括利益	3	△111

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,125	9,087
減価償却費	1,765	1,566
減損損失	1,158	169
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△3,541	—
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	965	△1,214
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△8,184
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,121	△602
仕入債務の増減額 (△は減少)	842	735
その他	△466	97
小計	1,729	1,654
利息及び配当金の受取額	53	63
利息の支払額	△154	△198
法人税等の支払額	△217	△116
法人税等の還付額	128	102
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,539	1,506
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,277	△1,589
有形固定資産の売却による収入	—	8,492
関係会社株式の取得による支出	△3,817	—
その他	△248	△107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,342	6,795
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	2,019
長期借入れによる収入	12,700	1,500
長期借入金の返済による支出	△9,500	△2,000
配当金の支払額	△314	△263
その他	△67	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,817	1,121
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	△121
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△951	9,301
現金及び現金同等物の期首残高	8,807	8,853
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	52	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,907	18,154

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,670	5,970	6,167	1,892	36,700	—	36,700
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	890	5,738	3	6,649	△6,649	—
計	22,688	6,861	11,905	1,895	43,350	△6,649	36,700
セグメント利益 又は損失 (△)	164	111	△3	26	299	116	416

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額116百万円には、セグメント間取引消去63百万円、その他の調整53百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	合計
減損損失	547	—	611	—	1,158

※上記の減損損失は、四半期連結損益計算書の事業構造改善費用に含まれております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,984	4,996	5,524	2,136	36,641	—	36,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	622	5,968	3	6,594	△6,594	—
計	23,984	5,618	11,493	2,139	43,236	△6,594	36,641
セグメント利益 又は損失 (△)	△412	△36	81	140	△226	△23	△249

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△23百万円には、セグメント間取引消去75百万円、その他の調整△98百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	合計
減損損失	—	169	—	—	169